



一般社団法人 山口県作業療法士会

# それっちゃ Yamaguchi



それっちゃデジタル版

巻頭言	.....	2
研修会案内	.....	3
部局・部会より	.....	6
事務局より	.....	13
理事会報告	.....	14
しっちょる	.....	18
編集後記	.....	19

## 巻頭言

## OT の未来は皆で作ろう



所属 医療法人まえば小児科クリニック  
(山口県作業療法士連盟 会長)  
氏名 岩本 晋一

令和6年は医療、介護、障害福祉の報酬改定が行われました。この改定の課題は医療福祉関係者の賃金アップだったのはご存じでしょうか。

それぞれ報酬は引き上げられました但实际上はどうでしょうか？あまり賃金が上がったと感じてはいないのではないのでしょうか。

現在リハビリテーションに関係する国会議員は4名います。参議院に3名、衆議院に1名であり、政党は与党2名、野党2名です。

臨床現場や教育現場で活躍をされていた理学療法士の方です。

この4名の理学療法士の国会議員が、リハ職だけでなく福祉関係に関わる職種の未来を考え、関係省庁へ報酬UPや処遇の改善を要求されています。

7月には任期満了による参議院選挙が行われます。リハ職の代表として田中まさし参議院議員が比例代表候補として自民党から公認されました。

リハ職を取り巻く待遇の改善や身分保障等について、POSの3団体が協力して政府に提案を行っていますが、私たちの声を直接届けるには、立法府にPOSの代表として国会議員を残さなければなりません。そのためにも、7月に行われる参議院選挙では、私たちリハ職の代表である田中まさし参議院議員の応援をしましょう。

各職場に後援会入会の案内が届いていると思いますが、ぜひ入会をして応援の意思を表明してください。

山口県作業療法士連盟も、田中まさし参議院議員を私たちリハ職の代表として推薦し応援しています。

学術団体である山口県作業療法士会と政治団体である山口県作業療法士連盟は協力し、山口県作業療法士会の会員の皆さんの待遇改善や職域の拡大を、山口県行政、県内の各市町村に働きかけています。

皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

# 研修会案内

## 県士会主催の研修会案内

### 第 36 回 山口県作業療法学会のご案内と 演題募集について

この度、下記の内容で第 36 回山口県作業療法学会を開催することとなりました。今年も対面での開催を予定しております。今回は山口・防府地区が担当します。詳細が決まり次第、随時案内を予定しております。

つきましては、会員の皆様より一般演題を募集しますので、多数の応募をお願い申し上げます。

1. テーマ：ウェルビーイングと持続可能な社会に向けて～未来志向の作業療法～
2. 会期：2025 年 9 月 28 日(日)
3. 開催形式：対面形式
4. 開催場所：JA 山口県 防府とくち統括本部（〒747-0802 山口県防府市中央町 4-1）
5. 学会長：原 直利（山口県立総合医療センター）
6. 基調講演：藤井 寛幸 氏（株式会社フジイコーポレーション）
7. 一般演題募集意思表示：一次募集締め切り 4 月 13 日(日)  
登録フォームにて入力をお願いいたします。  
登録フォーム URL：<https://forms.gle/dBenYuwSnzXcYgdy7>
8. 演題数：20 演題を上限とします。

※今回の学会では、査読時に提出していただくデータは論文形式です。

また、査読完了後、演題が採択された場合に抄録を作成していただきます。



登録フォーム用 QR コード

#### 【第 36 回山口県作業療法学会一般演題係】

山口リハビリテーション病院

〒753-0851 山口県山口市黒川 3380

TEL：083-921-1627

Mail：[yot36endai.irodori.sdgs@gmail.com](mailto:yot36endai.irodori.sdgs@gmail.com)

※演題募集に関するお問い合わせにつきましては、山口リハビリテーション病院（第 36 回山口県作業療法学会一般演題係）までお願い致します。

※1 人一演題でお願いいたします。

今回の山口県作業療法学会は「SDGs×作業療法」をコンセプトに据え、作業療法がこれからの多様性社会に対して取り組める事を創造する学会にしたいと考えています。皆さんが普段行われている作業療法の引き出しを増やすだけでなく、対象者や社会から求められていることを感じ、一緒に作業療法の可能性について考える機会に出来たらと思っています。

作業療法と SDGs の親和性は高く、さらに持続可能な社会にはあらゆる分野で作業療法的思考でのマネジメントも求められるようになってきています。ウェルビーイングと持続可能な社会に向けて、皆さんの多様な作業療法の発表が聞けることを楽しみにしています。

また、日本作業療法士協会では 2027 年度から生涯教育制度が変更となり、登録作業療法士制度が開始となります。新制度に移行する前に旧制度（基礎研修プログラム）を修了しておくことで登録作業療法士への移行が円滑になるメリットがあります。特に現職者共通プログラムの 9. 事例検討を修了した方で 10. 事例報告がまだ修了していない方は貴重な発表の場となりますので、この機会に発表してみたいかがでしょうか。

会員の皆様、ぜひこの機会に奮って応募してください！

ご不明な点あれば第 36 回学会事務局までご相談ください。

【第 36 回山口県作業療法学会事務局】

吉南病院

担当：池田 晶代

〒747-1221 山口県山口市鑄銭司 3381

TEL：083-986-2111

Mail：[yot36.irodori.sdgs@gmail.com](mailto:yot36.irodori.sdgs@gmail.com)

## 他団体主催の研修会案内

# 第 1 回 維新リハビリテーション研究会 開催のお知らせ

平素より当研究会にご支援頂きまして誠にありがとうございます。

第 1 回 維新リハビリテーション研究会を下記の通り実施致します。要項をご一読のうえ、下記 QR コードより参加案内希望のご登録をお願い致します。ご登録頂きましたアドレスに当日の案内をお送りいたします。前回の募集にてご連絡を頂いた先生は、ご登録は不要です。

### 記

1. 日 時：2025 年 5 月 28 日（水） 18:30 から 20:00

2. 開催形式：Web (ZOOM)

3. 参加費：無料

4. 生涯教育：日本作業療法士会 基礎ポイント 1 ポイント

5. 内 容：整形外科 総論：「肩関節の機能解剖」

脳血管障害 総論：「脳画像の診方」

6. 講 師：

梶田 芳徳：済生会下関総合病院

認定ハンドセラピスト 認定作業療法士 骨粗鬆症マネージャー

森脇 善幸：みなくるはうす下松

専門作業療法士（脳血管障害） 認定作業療法士



参加案内申し込み

6. 注 意 点

1. 参加証明書配布のためインターネット環境下の PC で参加をお願いします。

2. 1 名につき 1 つのアドレスでご登録下さい。

3. 病院、施設などのアドレスは避け、個人のメールアドレスをご登録ください。

4. 複数人での視聴は可能ですが、ポイントはご登録のアドレスの方のみとなります。

5. 講義中に提示したスライドなどの資料配布はありません。

7. 問い合わせ先

維新リハビリテーション研究会 森脇 善幸（もりわき よしゆき）

メールアドレス：[ishin.rehabili@gmail.com](mailto:ishin.rehabili@gmail.com)

以上

# 第37回日本ハンドセラピー学会学術集会 新時代へ -試されるセラピスト-

1. 会 長：井部光滋（札幌徳洲会病院 整形外科外傷センター）
2. 日 時：2025年4月11日（金）・12日（土）
3. 会 場：パシフィコ横浜 ノース 4F
4. ホームページ：<https://www.jhts37hand.jp/>
5. 内 容：

特別講演 酒井昭典 先生（産業医科大学 整形外科）  
 高齢者の橈骨遠位端骨折に対するトータルケア  
 海外招待講演 Peggy Boineau 先生（IFSHT President）  
 Distal Radius Fracture: Proximal Problems after Distal Injury  
 教育講演 白戸力弥 先生（北海道文教大学）  
 上肢運動器疾患と自動車運転 -セラピストに試される課題-

## シンポジウム

- I 手外科医とセラピストの連携 いかにして連携するか  
 本宮真 先生（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院） 松井裕帝 先生（羊ヶ丘病院）  
 谷口しのぶ 先生（JA 愛知厚生連安城更生病院） 高島広樹 先生（聖マリア病院）
- II マイクロサージャリーとハンドセラピー  
 善家雄吉 先生（産業医科大学病院） 原田康江 先生（一宮西病院）  
 小田桐正博 先生（新潟手の外科研究所病院）

## 新時代セミナー I 筋電義手の実践と最近の動向

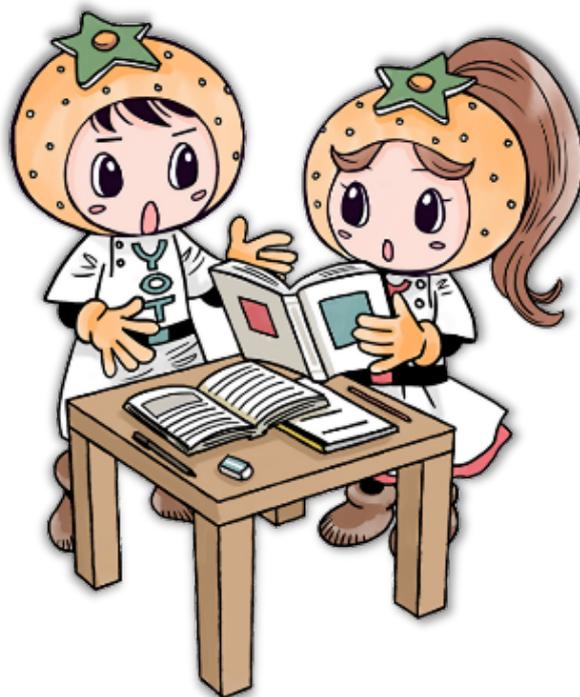
大庭潤平 先生（神戸学院大学）

## 新時代セミナー II 骨粗鬆症，転倒予防からみたハンドセラピスト意義と役割

梶田芳徳 先生（山口県済生会下関総合病院） 稲垣慶之 先生（名古屋掖済会病院）

## 新時代セミナー III 痛みへの新たなアプローチ

清本憲太 先生（日本医療大学） 大野博子 先生（聖マリアンナ医科大学病院）



# 部局・委員会より

## 宇部市と山口県作業療法士会の協定

### 健康みらい共創協定を締結



令和7年2月18日（火）宇部市役所にて

#### 協定内容

- ✔ 高齢者の介護予防・健康づくりに関すること
- ✔ 障害者（児）福祉への支援に関すること
- ✔ こども（乳幼児）の発達支援に関すること
- ✔ 市民の健康増進に関すること
- ✔ 地域づくりへの支援に関すること

### 大きな一歩です

## 宇部市と県士会との協定までの経緯とこれから

### きっかけは40周年記念事業でした



令和7年2月18日、山口県作業療法士会は宇部市と「健康みらい共創に関する協定」を締結いたしました。当日は、木下会長、信久理事、河野理事、上田こども支援委員長が宇部市役所を訪問し、協定締結に至りました。

本協定は、高齢者の介護予防・健康づくり、障害者（児）福祉の支援、乳幼児の発達支援、市民の健康増進、地域づくり支援といった多岐にわたる分野において、宇部市と山口県作業療法士会が緊密に連携し、協働・共創による取り組みを推進することを目的としています。

特筆すべきは、本協定が県内の自治体との締結としては初の試みであり、全国的に見ても先進的な事例であるという点です。これは、会員各位の日頃のたゆまぬ努力と、地域社会への貢献に対する熱意の賜物であると確信しております。

「作業」は、人々の健康と幸福を支える根幹です。地域社会において、人々がそれぞれの役割を担い、互いに支え合いながら生活することで、健康で活力に満ちた社会が実現します。

私たちは、医療、介護、福祉の枠組みを超え、地域全体がより暮らしやすい環境となるよう、多方面の関係者、行政、そして市民の皆様と共に、新たな価値を創造していきたいと考えています。

本協定の締結を機に、地域住民の皆様が主役となり、いきいきと健康に過ごせる地域社会の実現に向けて、全力で取り組んでいく所存です。

本協定に基づく取り組みを円滑に進め、より大きな成果を上げるために、会員の皆様のご理解とご協力が不可欠です。今後、様々な事業や活動において、皆様のお力添えをいただくことがあるかと存じますが、その際は何卒よろしくごお願い申し上げます。共に手を取り合い、地域社会の発展に貢献できるよう、尽力してまいります。

R7年2月7日

## 施設代表者会議を行いました(会議報告)

令和7年2月7日に山口県作業療法士協会「施設代表者会議」が開催されました。前回は令和5年2月に実施され、今回2回目の開催となりました。前回に引きつづき多くのご参加をいただきました。また事前アンケートにおいて多くの回答を頂き大変感謝しております。ありがとうございました。

今回は、令和7年度にOT協会の生涯教育制度が大きく変更されることについて、情報共有・情報交換を行い、みんなでスムーズに制度移行に繋がるようにという目的での会議開催でした。協会教育部の説明会に参加された、県士会教育部の信久理事に制度についての説明をしていただきました。

以下、会議概要のご報告をいたします(´)/

### 令和6年度 山口県作業療法士会・施設代表者会議議事録

開催日時: 令和7年2月7日(金) 19:00~20:40

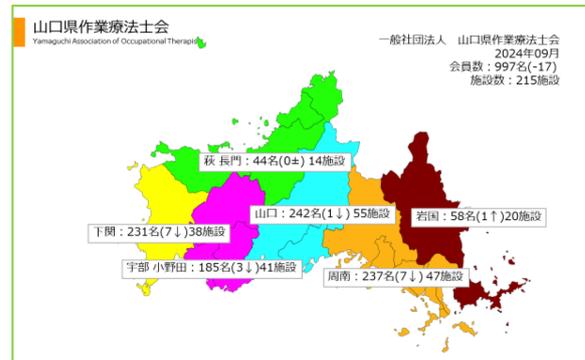
形 式: ZOOM

参加者数: 75名

施設代表者 67名(うち理事9名)

理事 8名

2025  
施設代表者会議



#### 1. 県士会の現状報告(木下会長より)

会員⇄県士会⇄協会 との連携、OT協会重点活動項目、県士会員数の推移、県内OTが様々な分野で活動を展開していることの紹介があった。また、「自分達の仕事や立場を守ることは自分達で行う必要がある」「作業療法を必要としている方々に作業療法が提供できる社会を共に創っていこう」というメッセージが伝えられた。

#### 2. 新生涯教育制度について(信久教育部理事より)

今年度より改定される新生涯教育制度について、協会からの資料を基に説明された。(現在、協会ホームページにおいて新制度の資料が随時アップされておりますので、そちらもご確認ください)

今回の参加会員は、新制度についてまだあまり意識をしていなかった方から、ある程度情報を把握している方と様々な参加者がおられた。説明後に質疑応答が行われ、参加者からは、各々の質疑から制度内容を理解することにもつながったという意見も聞かれた。

特に、2025年4月から新制度開始となるが、2026年度までは、協会として現行プログラムも併用して運用される。2024年度までの入会会員は、この2年間に現行プログラムを出来る限り修了させ登録OTを目指していけるよう推奨されている点は重要である。山本OT協会長からも、2030年までに登録OT3

2025→

作業療法を必要としている方々に  
作業療法が提供できる社会を

Yamaguchi Association of Occupational Therapists



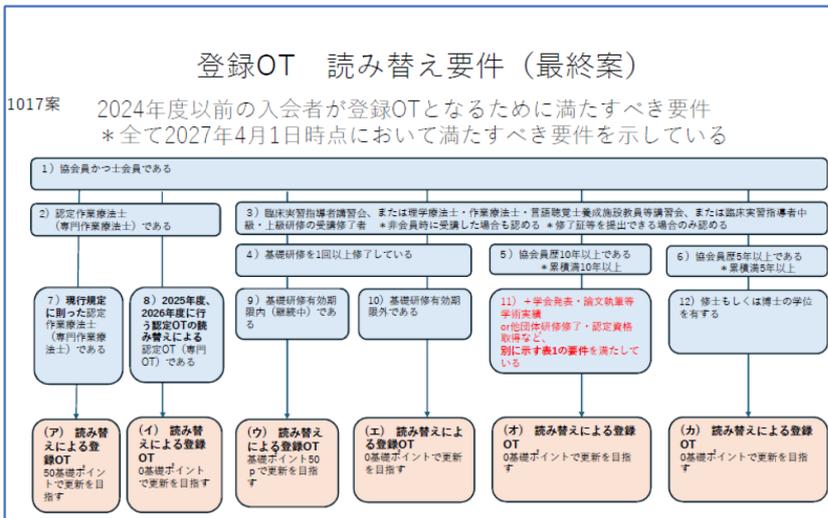
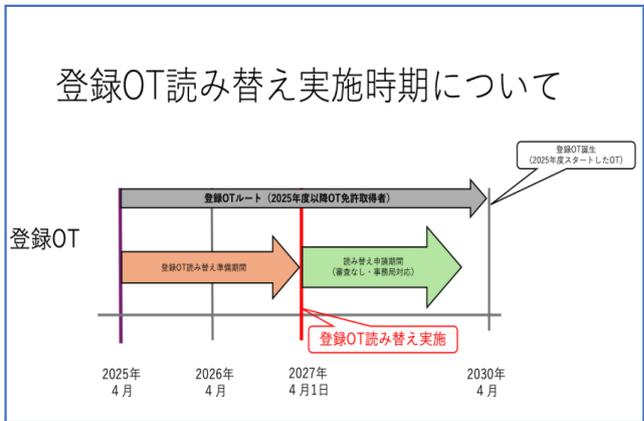
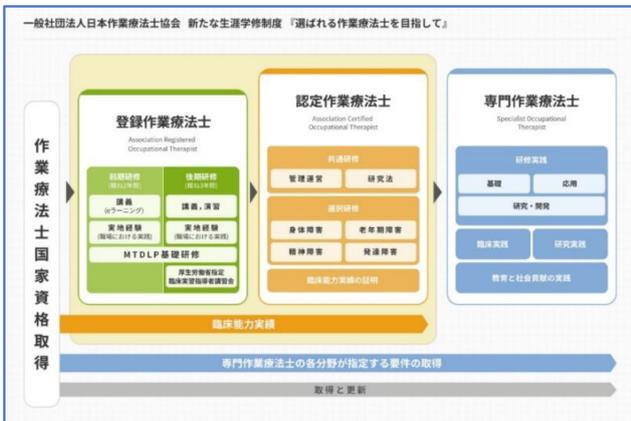
万人以上を目指し、標準的な作業療法の質と量の担保に加え、加算要件の報酬制度の確立に繋がるような根拠として示していきたい、という発信もある。現在、PT・OT が足並みをそろえて取り組みを行っているところであるという情報共有がなされた。

山口県では、2025 年度は現行プログラムを実施することが決定されている。(2026 年度に実施するかどうかは未定である) 今年度中の研修参加を計画されることをお勧めする。

2025 年度入会者は、新制度の 70 コンテンツの e ラーニングや実地経験から構成される前期研修が開始となる。詳細についての新情報は随時、協会ホームページや協会誌で発信されるので、各々確認していただくことと、県士会からも出来る限りの情報発信をしていく予定である。

3. まとめ(中村副会長)

新しい制度に変わること戸惑っていることもあると思うが、今後我々が PT・OT ともに教育制度の名称を揃えて質を高める努力をしていく必要がある。新制度についての質問等がある場合は、県士会の立場から取りまとめて協会に挙げていくよう提示されている為、疑問点がある場合は、一旦は県士会へ問い合わせいただき、それら情報共有は、県士会が担うようにしていきたい。



※会議資料の一部抜粋。協会ホームページにも掲載してあります。

※質問への回答や新たな情報の発信は今後も随時行っていく予定。

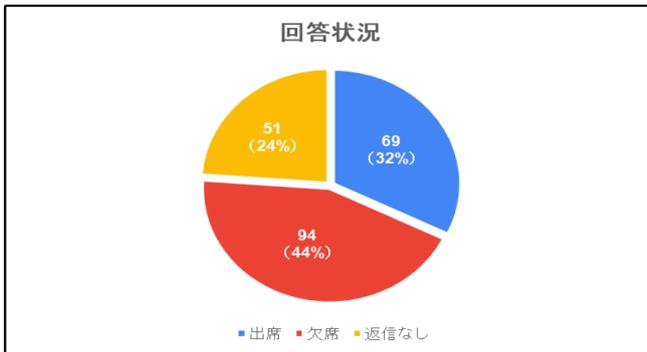
#### 4. 事前アンケートのまとめ

【山口県作業療法士会事務局データより】

(2025.01.29時点)

会員所属施設：214施設

会員数：997施名



【今回のアンケート結果】

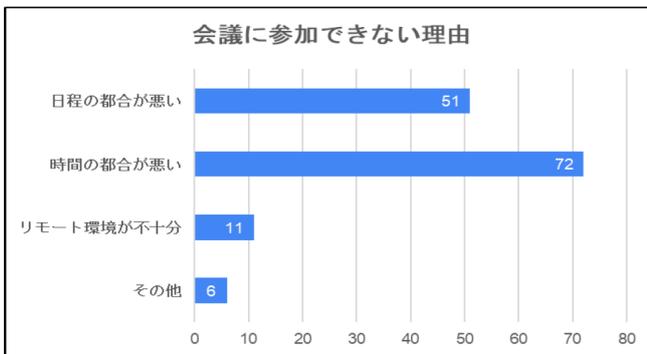
(2025.01.27時点)

回答：163/214施設 (76.2%)

内訳：出席 69施設

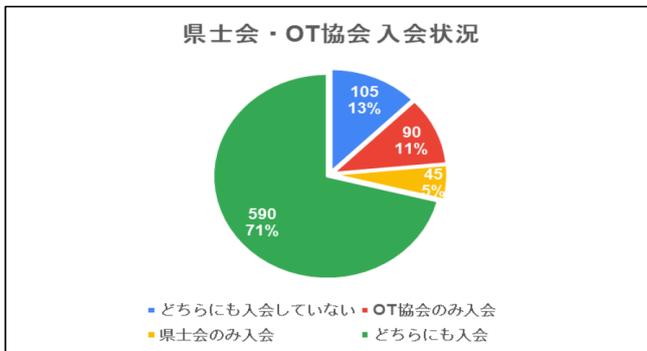
欠席 94施設

返信なし 51施設



【その他の内容】

- ・ 育児に関する内容
- ・ 健康状態に関する内容



【県士会・OT協会 入会状況】

(※欠損データを除く139施設を集計)

- ・ どちらにも入会：590名
- ・ 県士会のみ入会：45名
- ・ OT協会のみ入会：90名
- ・ どちらにも入会していない：105名

生涯教育制度について（自由記載）

- ・ 生涯教育制度はマイナーチェンジを繰り返してきているが、現行の要件であれば達している人へのフォローアップはないのか？

以前は9は地区の症例発表で筆頭演者として発表、10は県レベルで発表しないといけなかったが、今は9は地区レベルの発表会へ参加※質問する、10は地区レベルの発表でよしとなっている。現行に照らせば、達成している人間もいると思うが、そこへのフォローアップはどうなっているのか？

- ・ 現状のポイントなどがどうなるか
- ・ 新制度への移行と、登録作業療法士や認定・専門作業療法士の活用法がどのようになるのか？を詳しく知りたいと思っている。
- ・ 50ポイントの維持について、リハビリ業務外で仕事をしているとむつかしく感じる
- ・ 新しい生涯学習制度が2025年4月スタートとなっているが、各種の情報がでるのが遅い。仕事・子育てなどで時間の制限がある人が多いためeラーニング等が増えるとよい。今の制度では管理者はプレイングマネージャーでないと更新が難しい。
- ・ もっと参加しやすいスケジュールを組んで欲しい。
- ・ スマートフォンで管理可能なアプリを作って欲しい。情報の更新や研修科の情報もひとつにまとめてほしい。福利厚生としてPTのような割引を作って欲しい。

## 2025 県内進学・仕事魅力発信フェア in やまぐち 参加報告

今年も大盛況！2025年2月14日開催の「2025 県内進学・仕事魅力発信フェア」に山口県作業療法士会広報部が参加しました。

このイベントは高校生に県内の大学や専門学校、企業の魅力を知ってもらうことで県内への定着を促そうと県等が毎年開いているものです。会場には県内各地からおおよそ1900人の公・私立高校1年生が集まりました。大学の授業を体験したり企業の業務内容を聞いたりできる130以上のブースが設けられ、生徒は興味のあるブースを回りました。

作業療法士のブースには計36名の生徒が話を聞きに来てくれました。高校1年生ということもあり、ほとんどの生徒が進路はまだ未定。「作業療法」という言葉を初めて聞く生徒が多くいる中、「僕は将来、作業療法士になりたいんです！」と強い信念を持ち、目を輝かせてブースに駆けつけてくれた生徒もいました。これには広報部員も嬉しくなり、仕事のやりがいやどうすれば作業療法士になれるかなどの説明を精一杯しました。

会員の皆さんは、いつ「作業療法」という言葉を知り、どのように将来の夢としてこの道を選びましたか？目の前にいる高校生が今まさにその決断をするかもしれない。そのきっかけを私たちの言葉で創ることができるかもしれない。そう思うと自然と熱が入りました。

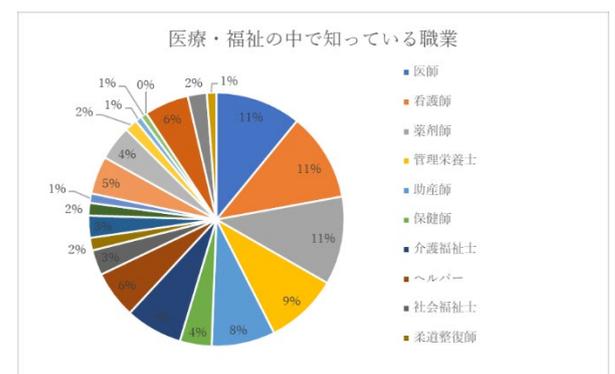
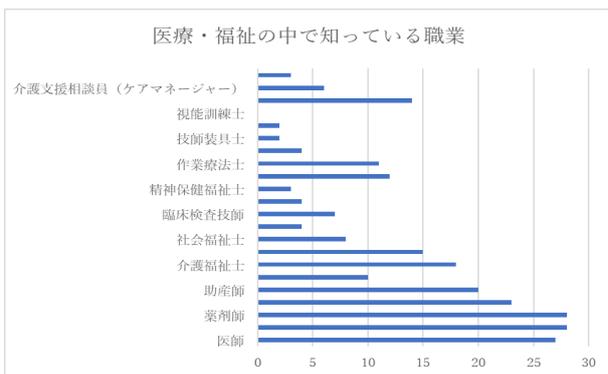
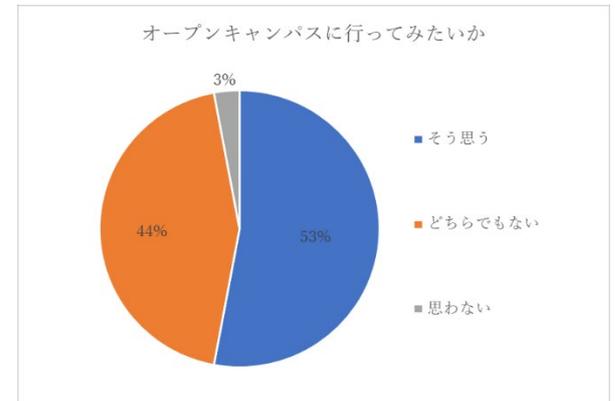
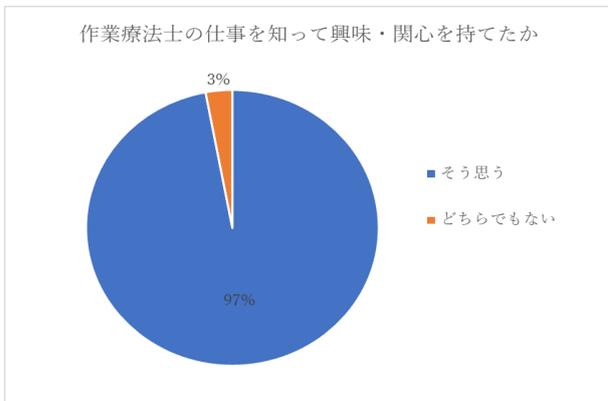
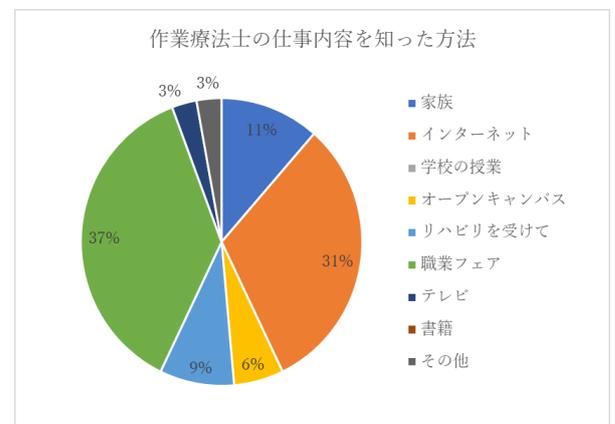
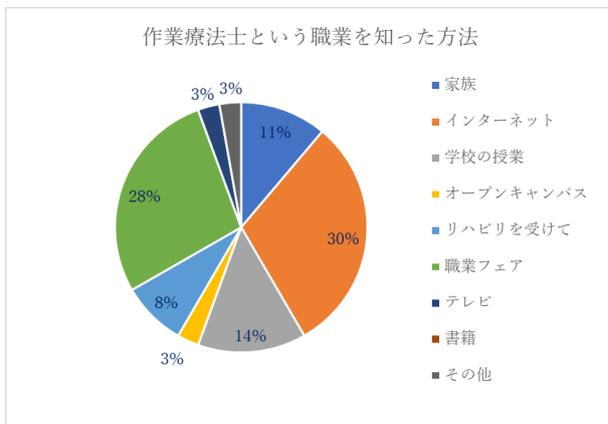
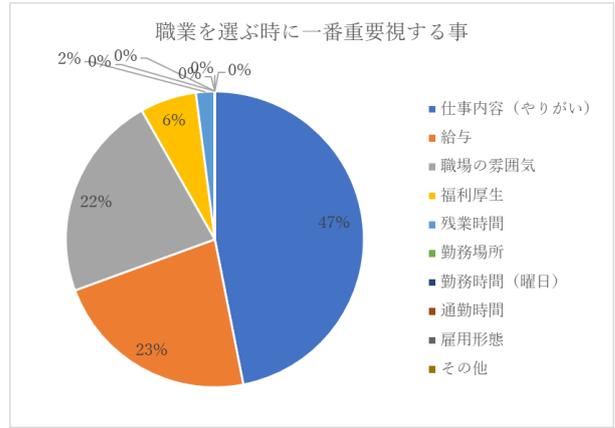
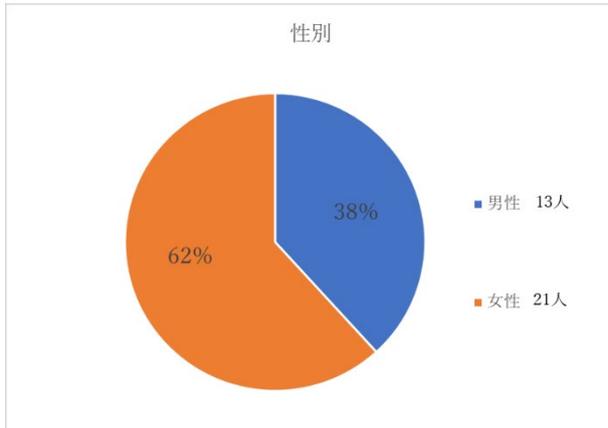
さて、嬉しい報告がもう一つあります。このイベントでの県士会活動は広報部員（上岡、奴田原、笹川、大田）が毎年担当しておりますが、今年は新しいメンバーが加わりました。初めて参加してくれた彼はまだ1年目（去年まで学生だった）ということもあり、高校生と近い感覚で話をしてくれ、生徒からも好評で大変助かりました。また1年目とは思えないほどしっかりと作業療法について語ってっていました。高田憲侑さんありがとうございました。こうして若い世代の作業療法士が積極的に県士会活動に参加してくれることは非常に意義のあること、嬉しいことだと思いました。ご興味のある方は、一緒に参加してみませんか？県士会広報部（大田）までお問い合わせください。

高校卒業予定者の就職内定状況。県内80.1%、県外19.9%（2024年10月末山口労働局調べ）県内就職の割合が県外就職を大きく上回っている状況です。一方で、公立高校など卒業者の大学進学状況は県内が31.1%、県外が68.9%（2024年5月県教育委員会調べ）となっています。就職するのは人間関係が構築されている地元で。進学は施設などが充実している県外で。という選択をしている学生が多いようです。山口県で働く作業療法士の仲間が増えていけるように、今後も広報部員一同尽力していきます。

広報部：笹川 和彦（山口リハビリテーション病院）



ブースで説明を受けた生徒にアンケートの協力を得ましたので、以下に掲載します。



## 「2025県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち」に参加して

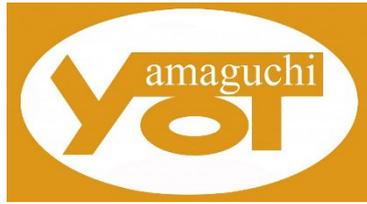
作業療法士1年目である経験の浅い私がこのようなイベントに参加できる機会は多くないと思います。初めての慣れない場でしたが最後まで楽しく参加することができ、非常に素晴らしい貴重な経験をさせて頂きました。

参加してみて一番驚いたことは、作業療法という言葉の知名度の低さです。説明を受けるまで聞いたこともないという方が多く、説明を受けると「本当に社会のためになるいい仕事ですね」「知れて良かったです」などの言葉を聞く場面が多かったです。まずはこういった職業もあるという事を知ってもらうことが大切だと感じました。

様々な思いを持たれた学生さんの率直な意見や疑問などに触れることができ、私の中でも考えさせられることも多くありました。そのような疑問や意見に対して分かりやすく、端的に説明されている先輩方にも感銘を受けました。短時間の中で作業療法の良さや活躍場面などを分かりやすく説明することの難しさを感じ、私の中での作業療法という言葉や意味、あり方などはまだまだ浅いなど実感しました。だからこそ、もっと深く知ることが必要で様々な経験をこれからもしていきたいと改めて思いました。

広報部：高田憲侑（宇部西リハビリテーション病院）





## 山口県作業療法士会のロゴを新しくします！

2025 年度の広報部の企画として、山口県作業療法士会のロゴを新たに作成します。

作成に至るまでに、会員の皆さまには新しいロゴに込めて（含めて）欲しい「思い」や「イメージ」などを自由に回答して頂けたらと考えています。

作成の流れとしては、皆さまからご意見を頂いた上でデザイナーさんにお伝えして、検討を重ねてロゴにして頂きます。（途中経過がみられるかは交渉中です）

以下の URL または QR コードからご回答ください。無記名ですので、自由に回答頂けましたら幸いです。

<https://forms.gle/BHeirpEVCsVBNtu19>

締め切りは 4/17（木）13：00 までといたします。  
よろしくお願ひいたします。



広報部：大田茂臣（山口コ・メディカル学院）

## 事務局より

### 着文書

(R7.2.5～R7.3.5)

<他県士会ニュース>

滋賀県 ニュース№18

長野県 ニュース№237

鳥取県 ニュース№126

兵庫県 ニュース№83

<冊子・パンフ等>

長野県作業療法士会 長野県作業療法士会学術誌第 41 巻

大分県作業療法士連盟 ニュース№14

### 施設情報

(R7.2.5～R7.3.5)

<不在籍施設>

(山口地区)

ナーシングホーム湯田温泉（閉鎖）

(岩国地区)

岩国市福祉部高齢者支援課

### 財務より

令和 7 年度年会費の振込をお願いします。

**コンビニで振込み可能！！**

3 月下旬に正会員の方へ令和 7 年度の会費振込用紙をお届けします。各コンビニから振込みができる振込用紙となっております。  
**(郵便局では使用できません。)**

8,100 円の額面となっておりますが、年会費 8,000 円にコンビニの振込手数料 100 円を含めての 8,100 円です。また、令和 6 年度会費未納の方には合算して請求させていただいています。

4 月末までに R6 年度の会費の納入が無い方は、会員資格喪失となります。

4 月末までに納付していただいた方には 5 月末に会員証を送付いたします。

本年度より、遅れて納付した方の会員証は3カ月単位で締めて送付しますので、お手元に届くのが非常に遅くなります。

4月末日までの納付をお願いします。

今年から、振込用紙は6月末までしか利用できません。

3月10日時点のデータを元に発送します。お手元に振込用紙が届かない場合は事務局までご連絡ください。4月21日までに申し出のみ再度コンビニ用の振込用紙を送付いたします。

事務局からの連絡が滞りますので、異動の際は早急に異動届を提出してください。

なお、今まで通り郵便局からの振込も可能です。郵便局からお振込みの場合はお手数ですが、郵便局にある振込用紙に会員氏名・OT協会会員番号を記入の上、下記口座にお振込みください。振込金額は8000円です。

郵便局 記号番号：01590-5-11556  
 加入者名：山口県作業療法士会  
 ゆうちょ銀行 一五九店当座預金 0011556

\*郵便局より間違えて8100円の納付をされる方がおられます。

8100円の納付があった場合は、返金いたしませんので、ご注意ください。

年会費は8000円です。

お願い

- 払込受領証を必ず保管しておいてください。
- 異動届は必ずご提出ください。  
(ホームページより手続き可能です)

お問い合わせ先：山口県作業療法士会事務局  
 TEL：083-920-0171

## 一般社団法人山口県作業療法士会

### 2024年度第6回理事会 議事録

議長:木下 書記:赤木

日 時	2025/03/01(土)14:00~15:10	(場所):大歳地域交流センター ZOOM
出席者	理事:木下・中村・高山・赤木・池田・井上・岩本・大田・河野・信久・原・古谷・三宅 【Zoom】岡藤・木原・鈴木・石原 監事:築地 委員:角上・佐藤・田村・田谷 【Zoom】岡 顧問:—	出席理事:17名
欠席者	理事:— 監事:小林 委員:天野・石丸・御書・濱本	欠席監事:1名
事務局	岡原・笹川	
事務員	児玉・岡崎	

**文書・委員推薦依頼等報告**

(R7/1/15~R7/2/21 まで)

**【県・市町より】**

- 山口県  
健康福祉部:山口県介護保険審査会委員の推薦について→信久 OT
- 各市町  
山口市:山口市すこやか長寿対策審議会 推薦→高山 OT  
山口県リハ職相談事業 受託意向書確認 依頼  
山口市短期集中型サービス実施事業の委託契約に係る意向確認

- 長門市:みんなで知ろう認知症 講座 講師派遣 依頼→安田 OT  
介護認定審査会委員の推薦依頼→安田 OT  
障害者支援区分認定審査会委員の推薦 依頼→木下 OT
- 山陽小野市:介護認定審査会委員の推薦依頼→青木・國弘・畑野 OT
- 下関市:障害者自立支援審査会委員の推薦依頼 →迫田・齊藤・松尾 OT
- 柳井市:障害者自立支援認定審査会の委員の推薦→倉田OT
- 光 市:自立支援型地域ケア個別会議→原 OT

【協会より】

- ・ 参院選に向けての田中昌史氏への支援の依頼

- 合医療センター+地区+分野別) 3/18
- ・ 下関地区第2回事例検討会 3/21

【他県士会】

奈良県:地域包括ケア認定研修会講師派遣依頼  
→原 OT

□査読委員会

- ・ 1/20 査読委員会 開催

【事務局】

- ・ 会員動向確認  
2/21 現在会員数 993 名(前回比-4)  
新入会 0 名 退会 4 名
- ・ 施設代表者会議 2/7 実施  
参加施設代表者:67 施設
- ・ 会員宛弔電対応 1 件
- ・ 顧問弁護士の契約について検討→継続審議

□学会サポート委員会

- ・ 今年度は、鈴木 OT が顧問としてフォローした。
- ・ 次年度以降、在り方委員会とサポート委員会と統合移行したい。

【財務部】

- ・ R6 年度決算及び R7 年度予算について審議し決定した。

□県学会在り方検討委員会

- ・ 2/20 次年度引き継ぎ開催
- ・ 学会の位置づけの検討. 認定 OT 取得や機関誌に載るものは、レベルを下げないようにしながら、発表しやすいものにしていきたい。

【事業部】

□一般公開講座企画実行委員会

- ・ 来年度に向け、研修会の内容など検討していく。

□企画委員会

- ・ 2/12 第 2 回会議終了 意見や提案について状況確認し検討する。

【意見】

会員の背景変化やコロナ禍の経験から、従来の集合型研修や意見集約の場の工夫が必要。  
ライフワークバランスの重視、若年層の参加状況、情報発信・受信方法の変化を考慮する必要がある。

所属施設の給与システムに生涯教育や資格取得を反映させることが出来れば、会員の入会意欲が高まる。

【提案】

Line Works, ZOHO, Slack などを活用した情報共有や意見交換の場の検討。

県士会活動の業務分担を見直し、若手会員の参加を促進する。

研修時の会員証提示方法を簡素化する。

学会の敷居を下げ、論文作成と発表の場を分離する。

□学会運営委員会 R7 年度山口地区

- ・ 論文作成した上で抄録集の作成の検討. 事後にアンケートを取って検討するようにしたい。
- ・ 第 1 回実行委員会を 2/21 に実施  
学会テーマ決定:ウェルビーイングと持続可能な社会に向けて～未来志向の作業療法～  
日時:R7/9/21,9/28 の予定(講師によって確定させる)  
会場:JA ほうふ  
講師:3 月頭頃には決定し、講演の打診をしていく
- ・ その他:3 月中には学会発表の意思表示募集を行う、実行委員数 30 名で運営していく

【教育部】

□MTDLP 研修会

- ・ 書き方研修会開催 1/26 参加者 4 名
- ・ 事例検討会開催 2/16 参加者 1 名

【広報部】

- ・ 「2025 県内進学・仕事魅力発信フェア in やまぐち」2/14(金)での活動終了  
参加者:笹川, 上岡, 奴田原, 高田, 大田 OT

検討事項

- ・ 広報用のグッズについての検討:ポロシャツ, 卓上フラッグ, ポスター制作
- ・ 会計について, 実働する部分は啓発活動委員会, グッズ作成などは広報部の予算としたい→了承
- ・ ロゴデザインの変更について→見積を出して継続審議

□啓発活動委員会

- ・ 地域包括ケア推進大会 2/2(日)啓発活動終了
- ・ 啓発活動委員会 全体会議終了(Zoom) 2/13
- ・ クリアファイル増刷済み(次年度より予算は広報部に切り替え予定)

□県士会ニュース編集委員会

- ・ 3 月号の編集・入稿が終了。
- ・ 4 月号編集会議をもって、今年度事業終了。

【学術部】

- ・ 身障部会研修会「私とハンドセラピー」講師:池本和子先生 3/1
- ・ 学術部主催事例検討会・報告会 3/9 参加予定者:15 名前後
- ・ 萩長門地区 地域リハビリテーションフォローアップ研修 1/31 参加者数 36 名
- ・ 岩国地区別勉強会「岩国地区別勉強会開催における意見交換」2/10 参加者数:10 名
- ・ 下関地区 地域リハビリテーションフォローアップ研修会 2/14 参加者数:13 名
- ・ 宇部小野田地区 地域リエイブルメントフォローアップ研修 2/26  
各地区勉強会では地域リエイブルメント推進委員会と連携して研修会も実施した
- ・ 山口県作業療法士会学術部ミーティング(県立総

【福利部】

- ・ 来年度, 学会の役員を対象として名札を下げるオ

リジナルネックストラップを作成してみる案あり. 学会だけでなく、広報部やその他の役員で名札を使う際の活用方法も検討→継続審議

→著作物使用許諾申請を行うよう調整中(監修団体の返事待ち)  
 ・JAF 本部, OT 協会, JAF 山口支部, 県士会代表者によるミーティング 3/4 対応:高山, 田中 OT

【渉外部】

- ・宇部市との協定締結 2/18 (参加:木下会長・信久・河野・上田 OT)  
山口新聞・宇部日報への記事掲載あり.

【地域共生社会推進部】

- ・5 委員会の委員長との顔合わせを増やして、横のつながりを強化する予定.

□地域リエイブルメント推進委員会

- ・第3回フォローアップ研修全6地区終了  
参加人数:山口21名, 周南24名, 萩長門30名, 岩国10名, 下関19名, 宇部小野田35名  
各地区とも対面研修による会員同士の交流が図れた

□認知症支援委員会

令和健康科学大学から認知症に優しい図書館の実態調査の協力依頼あり.  
下関市の図書館で実施予定. 時期詳細は検討中.

□運転と地域移動支援委員会

報告

- ・JAF 診療所(JAF 事業)に運営として参加 2/15 対応:田中 OT
- ・ガイドブックについて他団体より問い合わせあり 2/18

□こども支援委員会

報告

- ・こども支援委員研修会 2/16 10時~12時 オンライン研修 参加者23名  
テーマ:学校と家庭と一緒に叶える「届けたい教育」  
講師:仲間知穂氏  
来年度は対面での研修を検討中
- ・岩国市からの情報提供について  
岩国市福祉部こども家庭課母子保健班が開催する発達相談会において作業療法士の参加あり  
モデル事業としての紹介を岩国市より了承済み  
実際に発達相談会で使用している情報提供書類の原紙の提供を岩国市へ依頼中

□住環境福祉機器委員会

- ・来年度, コンテスト事業の企画を検討中.

【常設委員会】

□中国地区合同研修会運営委員会

- ・次年度, 山口県で開催予定.

【特設委員会】

□地域保健総合推進事業委員会

- ・本年度, 事業終了.
- ・山口市短期集中訪問Cで1事例実施.

# りじうら



～理事会裏話～

少しずつ寒さが緩和され、のどかな日和を感じられる季節になりましたね。皆さんの職場では新入職員さんの加入や人事異動などの関係で、新しいメンバー構成での活動が開始される所もあるのではないのでしょうか？皆さんにとって素敵な一年がスタートできることを祈って、りじうらを始めます！

広報部から、この1年間各地区で積極的な啓発活動が行えた報告がありました。活動を通し、次の試みとして、①県士会ロゴマークの刷新②広報用ポロシャツと卓上フラッググッズ作成の検討が挙がりました。実行するための予算修正を理事会で行い、実働する予定となりました。今からどんなものができるのか楽しみですね。また長期的な試みとしては某有名企業とのコラボ企画を検討という報告がありました。これからも広報部の活動に注目していきたいです。

続いて県学会について、今年度の担当地区は山口・防府地区です。会場は防府市で日時は9月末頃を予定しています。学会テーマは「ウェルビーイングと持続可能な社会に向けて～未来思考の作業療法～」になりました。「参加しやすそう！参加したい！」と思う工夫をいくつも用意していますので、県内 OT の皆さんで盛り上げていければと思います。こちらも今から非常に楽しみです！

最後に、一つアナウンスです。山口県作業療法士会の年会費についてですが、毎年数人、手数料を含めた8100円を振り込まれる方がいらっしゃるそうです。振込金額は「8000円」で大丈夫です。そして、これまでその100円を返却していたのですが、100円返却の為の手数料が結構かかってしまうことから、今後は8100円ご振込の方への返却は行わないことになりました。どうぞ、どうぞお間違えのないように、よろしく願い申し上げます！

それでは皆さん季節の変わり目で体調を崩されませんように。たまにはペースを落としつつ、今年もはりきっていきましょう！また次回のりじうらでお会いしましょう。



# 求人情報

## 作業療法士募集 社会福祉法人 祐寿会 老人保健施設 悠々の里

- 【雇用形態】パート労働者 【性別・年齢制限】不問  
【賃金】 時間給 1,258~1,509円 (経験年数要相談)  
昇給あり 処遇改善手当常勤換算により支給額決定  
通勤手当 月額上限 18,000円まで  
【出勤日】月曜~金曜日 (9:00~16:30)  
【勤務時間】3時間~ (週の出勤回数、時間は要相談)  
【その他】制服支給 現在PT (1名常勤 1名非常勤) OT (3名常勤)  
子育て中の方、臨床からしばらく離れていた方歓迎します  
【問い合わせ】山口市吉敷佐畑4丁目4番44号  
電話 083-928-2111 (事務長: 佐野まで)

**徳山中央病院 OT募集**  
**新リ八室建設中・業務拡大**  
**随時 経験者優遇採用**

徳山中央病院 OT 採用詳細: 下記 URL または QR コードより

[https://tokuyama.jcho.go.jp/recruit/co-medical/常勤\\_作業療法士募集について\\_随時募集/](https://tokuyama.jcho.go.jp/recruit/co-medical/常勤_作業療法士募集について_随時募集/)



話のネタの  
豆知識!

# しっちよる？



4月に入り各所で新入社員や新入生が入っていることでしょう。

それぞれの人生で新たな門出を迎えていると思いますが、皆さんの中で人生の節目といえど何でしょうか？学校に入学したとき？新しい職場へ異動したとき？それは様々あると思いますが、今回は「結婚」に焦点をあてて、**結婚式(挙式)**にまつわる記事にあげてみました。

日本の結婚式で多く行われる形式には「教会(キリスト教)式」「神前式」「仏前式」「人前式」と4つあります。それぞれの特徴は以下の通りです。

**「教会式」**…教会(チャペル)で神に愛を誓う神聖で厳かな挙式スタイルです。新婦は純白のウェディングドレスを着て、新郎はタキシードを着用します。母親によるベールダウンや父親と新婦がバージンロードを歩くシーンが印象的な挙式スタイルです。**※一番人気**



**「神前式」**…神社の神殿にて行われる日本の伝統的な挙式スタイルです。神前式は、家と家結び付けるのが結婚であるという考え方に基づき、神職と巫女が両家の縁結びをする挙式スタイルです。「三々九度の盃(さんさんくどのはい)」（盃を重ねることによって「家と家」の固い絆を結ぶ）を交わし、「玉串拝礼(たまぐしはいれい)」（＝玉串にふたりの心に乗せて神に捧げる）などの儀式を通して、神にふたりの結婚を報告します。**※三番人気**

**「仏前式」**…仏様の前で挙げる結婚式のスタイルです。寺院で先祖に結婚を報告し、ふたりが出会い結婚に至った「縁」を、仏様に感謝します。仏前式を行う場所は、新郎もしくは新婦の先祖代々のお墓がある「菩提寺(ぼだいじ)」、または縁のある寺院が一般的です。**※四番人気**

**「人前式」**…宗教に関係なく、家族や友人などの大切なゲストの前で結婚の誓いを立て、承認してもらう挙式スタイルです。ゲストと一緒に作り上げるようなオリジナル性のある挙式にしたい方にはピッタリのスタイルです。**※二番人気**

これまでは、コロナ禍で結婚式を控えていた方が多かったと思いますが、コロナが落ちついている昨今は結婚式を挙げる方も徐々に増えているようです。これから、結婚式を挙げる方もいれば、結婚式に参列される方もいることでしょう。しっかり楽しんで、人生の新たな門出をお祝いしましょう!!



# 記事の掲載依頼について

☆ 原稿締め切り日は定例で毎月第2日曜日としております。(変更の場合あり)  
 次回5月号(No. 352)は令和7年4月13日が締め切りで、発行日は令和7年5月1日頃です。  
 記事掲載希望の方は下記E-MAILアドレスへ送ってください。

E-mail : [yot\\_news@hotmail.co.jp](mailto:yot_news@hotmail.co.jp)

(書式はWord、フォントは明朝 10.5P 英数字は半角でお願いします。)

\*編集の都合上、レイアウト等一部変更させて頂くことがあります。ご了承ください。

☆ ニュースに対するご意見、ご感想をお待ちしています。

<県士会ニュース編集委員会> 編集委員長 : YIC リハビリテーション大学校 石丸 拓也  
 (TEL) 0836-45-1000 (FAX) 0836-45-1010



山口県作業療法士会  
LINE 公式アカウント



山口県作業療法士会  
公式 Instagram



それっちゃデジタル版

## 【編集後記】

新年度が始まりましたね!!

どこの職場もバタバタしているのではないのでしょうか。

私はというと、長男が高校に、次男が中学校に進学しました。長女は今年大学受験・・・  
 皆それなりに成長し、少し親の手を離れたので楽になりました。(少し寂しい気はしますが・・・)  
 その分、今まで少し控えていた自己研鑽や趣味を充実したいと思っています。

まずは、あれを買って、あれに申し込んで、あの資格を・・・

皆さんも無理せず頑張ってください!!

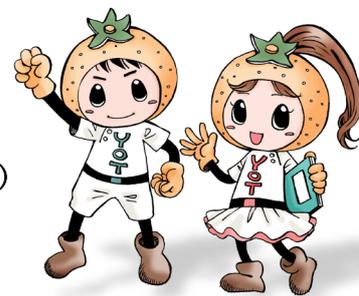
文責 : 石丸



月1回発行

- 発行 : 山口県作業療法士会 ニュース編集委員会
- 編集担当 : 石丸 拓也 (専門学校 YIC リハビリテーション大学校)
- 山本 隆次 (医療法人 愛の会 光風園病院)
- 吉長 卓真 (医療法人社団 宇部中央病院)
- 鍵本 州英 (介護老人保健施設 寿光園)
- 岡本 春奈 (リハビリデイサービスプラスワン)

- 印刷所 : 社会福祉法人山口県コロニー協会経営 ワークショップ・山口 コロニー印刷



《一般社団法人 山口県作業療法士会 事務局》

〒753-0851 山口県山口市黒川 2572-1 メゾン西京 103

事務 児玉・岡崎(Tel/Fax : 083-920-0171 Mail : [ymgc-ot@ymgcot.onmicrosoft.com](mailto:ymgc-ot@ymgcot.onmicrosoft.com))

Web : <http://www.y-ot.jp/>

